



バリアフリー推進レポート



《トピック》

福山城 バリアフリー状況視察&職員向けバリアフリー教室を開催！

中国運輸局では、共生社会実現のため、バリアフリー教室を開催し、疑似体験、介助体験、バリアフリー化された施設の体験等をさせていただく場を提供し、「心のバリアフリー」※の啓発に取り組んでいます。

※「心のバリアフリー」とは、すべての人々が、お年寄りや障害者等の立場を相互に理解しようと相手の気持ちになって考え、コミュニケーションをとり、行動し、支え合うことです。

このたび、「福山城 令和の大普請」と呼ばれるプロジェクトの下、大改修を行った福山城において、障害のある観光客目線での観光体験と、移動に制約のある方々の特性の理解を深めることを目的として、中国運輸局の若手職員を対象に、福山城の現地視察とバリアフリー教室を開催いたしました。



福山城 バリアフリー状況視察&職員向けバリアフリー教室を開催！

【開催概要】

○日 時:令和5年8月4日(金) 13:00~15:00

○場 所:福山城博物館

○参加者:中国運輸局職員 10名

○協 力:福山市、福山城博物館

○内 容:

- ①若手職員が福山駅から福山城博物館のアクセス経路を車いす・ベビーカー・高齢者疑似体験をしながらルート確認。
- ②スロープ、階段昇降機、及び思いやりエレベーターなど福山城博物館のバリアフリー設備について体験。

① 車いす体験



②ベビーカー体験

実際の荷物・人形を乗せて体験



③高齢者疑似体験

ひじ・ひざサポーター・ステッキ



④階段昇降機



⑤段差解消機



⑥おもいやりエレベーター



⑦QRコードの音声案内・てすりの点字



⑦体験型コンテンツ(一番槍レース、火縄銃体験)



火縄銃は車いすでの体験も可能



【感想】

- **車いす:** 建築物や道路などのちょっとした段差・坂道でも車椅子ユーザーにとって大きな障壁となることが分かった。福山城博物館のスロープなどのバリアフリー設備のありがたさを実感した。
- **ベビーカー:** ベビーカーを片手に階段を降りることは困難であった。
- **高齢者:** 膝が曲がりにくく、坂道では注意して歩かなければすぐ転倒してしまうと感じた。私たちにとって何気ないことが、高齢者には困難であることがよく分かり、高齢者に対する理解が深まった。
- **階段昇降機:** 音が静かで揺れもほとんどなかったので安心して移動できるという印象。
- **段差解消機:** 垂直に移動するということが高さが気になっていたが、周囲が壁で囲まれているので、高いところが苦手な方でも安心して移動できると感じた。福山城博物館は段差解消機等があり、移動が困難な方でも楽しめる施設である。
- 視察で得たご高齢の方や障害のある方に安全に旅行していただくための考え方を、今後の観光業務に生かしていきたい。
- 今回の視察でバリアフリーはもちろん、福山城の歴史を体験するコンテンツが充実しており、知識や年代を問わず楽しく過ごすことのできる工夫を感じた。

⑦福山城博物館学芸員の方による解説とパノラマシアター



⑧福山城博物館 5階(天守閣部分)からの眺望



車いすの方も眺望が見える
よう回廊出入口をフラット化



【まとめ】

我々職員も担当業務であるなしに関わらず、「障害の社会モデル」※を理解し、誰もが安全で快適に移動できるユニバーサルデザインの街づくりを推進していく必要があります。

今回の体験を通して、移動に制約のある方が社会にある「バリア」によって生じている困りごとに気づくことができました。

大改修を終えた福山城は文化財としての価値を保ちながら、バリアフリーに対する高い意識を以て設計・工事を行っており、誰もが快適に観光できる施設でした。

※障害者が困難に直面する原因は社会が作り、社会にはその困難や障壁を解消する義務があるという考え方。